

万全、安全、きたせん。

K7 横浜北線 (K1 横羽線～第三京浜) トンネルの防災施設

万全の設備で万が一の事故や火災からみなさんを守ります。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社

トンネル内で火災に遭遇したら…

1 速やかに 停車

- 安全を確認して、速やかに停車してください。(非常口のの前には停車しないでください)。
- 停車するときは、左側か右側に寄せて、緊急車両が通行できるように中央部を空けてください。
- 車を停車させたら、エンジンは止め、キーは車内に残して速やかに近くの非常口から避難してください。

2 非常口へ 避難

- 速やかに非常口へ避難してください。



- 非常口へは誘導表示板と回転灯(非常口強調灯)を目印に

誘導表示板



回転灯(非常口強調灯)



非常口表示灯



案内に従って避難してください。
非常口までの距離は誘導表示板で確認できます。
非常口に設置される黄色い回転灯を目指し、避難してください。

- 大部分の非常口は、すべり台を使用して道路下の安全空間へ避難します。
※公園にあるすべり台と同じです。



3 地上へ

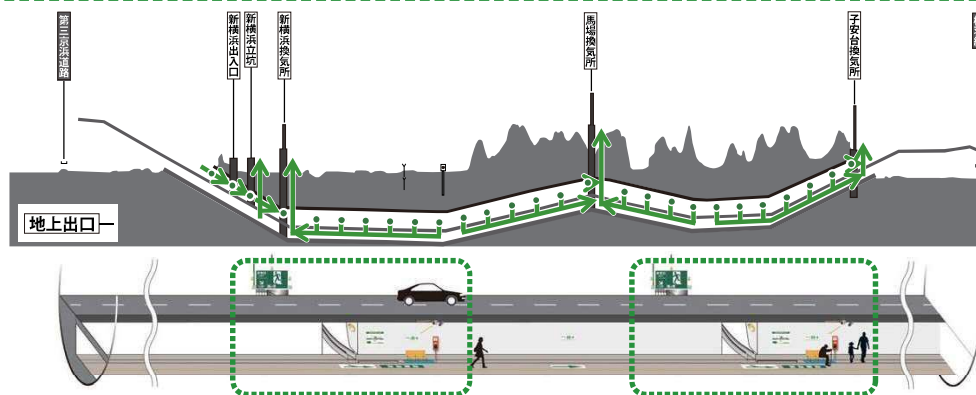
- 道路下は安全な空間です。落ち着いて行動してください。



すべり台を使った避難方法

⑦横浜北線(横羽線～第三京浜)の構造

⑦横浜北線(横羽線～第三京浜)のトンネル区間の大部分は、通常時に車両が走行する車道部と、緊急時に避難する道路下安全空間の2層構造になっています。車道部と道路下安全空間をつなぐ施設として、首都高速道路では初めてとなるすべり台式の避難方法を採用しています。(※一部すべり台を使わない非常口もあります)



「非常口を開けるボタン」で非常口扉を開ける



ボタンは2つあります。



●非常口に設置された緑のボタンを押します。



●ボタンを押すと、非常口の跳ね上げ扉が開放します。

すべり台で道路下の避難通路に移動



●道路下の避難通路を経由して地上に出られます。
①避難通路は安全空間ですので、案内に従ってあわてず避難をお願いします。



介助を必要とされる方がいる場合は、ご協力をお願いします。



●跳ね上げ扉が完全に開放されているのを確認し、すべり台により道路下安全空間へ滑り降ります。



道路下の避難通路をサインに従って避難



●道路下の避難通路をサインに従って避難をお願いします。
②避難通路内に管制室と連絡ができる電話を設置しています。



すべり台を降りた後は、避難通路内のサインに従って地上出口まで避難してください。



●地上へ向けて避難通路内の壁や路面のサインに従って避難をお願いします。



K7 横浜北線 トンネル内防災設備



火災発生時の防災設備

① 拡声放送スピーカー

200m以内の間隔でスピーカーを設置し、ドライバに情報を伝達します。明瞭性を確保するため時間遅延技術を採用しています。



② ラジオ再放送設備

トンネル火災発生時は、現場の状況や避難誘導などの緊急放送を、各ラジオ放送に割り込み発信します。



③ 自動火災検知器

約25m間隔で設置しています。火災時に発生する赤外線を自動的に検知し、管制室にいち早く知らせます。



④ 水噴霧設備

管制室からの遠隔操作により、約50mの範囲に霧状の水を散布し、火災の延焼や拡大を防ぎます。



⑤ トンネル用信号機・トンネル警報板・遮断機

非常時にトンネル内の火災、事故等の情報をトンネル用信号機・トンネル警報板でお知らせします。また、パトロール隊が遮断機で閉鎖します。



⑥ ジェットファン

トンネル火災発生時は、煙が避難の妨げにならないよう、空気の流れを調整し、避難の時間を確保します。



火災発生時、利用者の方に利用していただく設備

⑦ 消火器・泡消火栓

消火器や簡単に扱える泡消火栓を約50mの間隔で設置しています。無理のない範囲での初期消火をお願いします。



⑧ 押ボタン式通報装置

約50m間隔で設置しています。火災時または非常時にボタンを押すことで、管制室へ通報できます。



⑨ 非常電話

約100m間隔で設置しています。受話器を取ると、管制室に連絡できます。また、受話器を取り、通話ランプが点灯してから「故障」「事故」「救急」「火災」のいずれかのボタンを押していただいても、管制室に用件が伝わります。



⑩ 非常口

250m以内に設置されている非常口から避難通路を通じて、地上出口まで避難することができます。



北線トンネルの安全管理体制

⑪ 管制室

万が一に備え、24時間体制で交通状況と各設備の状態を見守っています。



⑫ テレビカメラ

約100mの間隔で設置し、常にトンネル内を見守っています。火災時には自動的にその場所の状況を管制室に映し出すとともに、トンネル内の走行状態の異常を画像処理により管制室に通報する機能があります。



⑬ トンネル照明設備

安全で快適に走れるように、見やすく明るい照明を設置しています。また、停電が起きたとき、走行に支障がない明るさを確保しています。



管制室と現場の連携

〈交通管制室・施設管制室〉

さまざまな情報をもとに事故、火災などの状況を瞬時に判断し、警察・消防等への要請、パトロールカーの出動、関係機関への連絡などを24時間体制で行います。また、各防災設備をコントロールして被害を最小限に抑えながら、安全に避難できるよう、お客様を誘導します。

交通事故等を即時に見つけます。

画像処理による交通異常事象検出システムの導入により、「停止車両」「低速車両」などを自動的に検出し、より早期の対応が可能になります。



連携

〈パトロールカー〉

首都高を24時間体制で定期的に巡回し、日々交通安全の確保に努めています。トンネル内での火災発生時などに現場に向かい、交通規制などの初期活動を行います。

エアジャッキを使い、早期に交通開放します。



天井の高さの低いトンネル内で、万が一、車両が横転したとき、早期の交通開放のために車両を立て直す設備（エアジャッキ）を配備しています。

K7 横浜北線 (K1 横羽線～第三京浜) とは

K7 横浜北線 (K1 横羽線～第三京浜) は、横浜市の交通ネットワークの骨格を形成する「横浜環状道路」の北側区間、第三京浜道路「港北インターチェンジ」から首都高横羽線「生麦ジャンクション」をつなぐ延長約8.2kmの自動車専用道路です。全線の約7割に及ぶ約5.9kmの区間はトンネルです。さらに、将来的に横浜環状北西線ができると、東名高速道路とも接続します。

※これまで、横浜環状北線として建設事業を進めてまいりましたが、開通後の路線名は「K7 高速神奈川7号横浜北線」となります。

<http://www.shutoko.jp/ss/kitasen/>

きたせん 検索



北西線・北線位置図

道路緊急ダイヤル #9910 首都高への通報方法

緊急事態発生!! 事故・故障・落下物あらゆる緊急事態



携帯電話・PHS・固定電話から #9910

自動音声ガイダンスに従い
道路の番号を選択

首都高は①を押す

音声ガイダンスの途中で
操作は可能です

担当機関につながります

首都高速道路の情報は…

〈首都高速道路情報等のお問い合わせ〉

■ 首都高お客様センター
TEL.03-6667-5855 受付 7:00～20:00 (年中無休)
FAX.03-3249-1161 (耳が不自由な方専用)

■ (公財)日本道路交通情報センター【首都高速情報】
TEL.050-3369-6655

〈ETCに関するお問い合わせ〉

■ 首都高ETCコールセンター TEL.03-6667-5859 受付 9:00～18:00 (年中無休)

〈24時間の最新交通情報〉

■ 首都高テレフォンサービス(自動音声) 出発路線指定(ナンバー登録専用) TEL.03-5632-2233 ※

■ 首都高テレフォンサービス(自動音声) 首都高速全線 TEL.03-5632-2222 ※

■ リアルタイム交通情報サイト「mew-ti」
<http://search.shutoko-eng.jp/index.html>



<<発行>>



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社
神奈川建設局調査・環境課
TEL 070-2153-1759
受付時間 平日9:00～17:00

※パンフレットに使用している写真・イラストは、他路線の設備・イメージのものがあり、実際に設置される設備と異なる場合があります。

平成28年9月

※首都高テレフォンサービスは、2022年1月31日（月）24時をもちましてサービスを終了いたしました。